

1 自己評価の概要

(1) 「学校経営・運営ビジョン」について

現在の学校経営・運営ビジョンは、平成18年度に「双高ビジョン21世紀プロジェクト委員会」を立ち上げ、地域の中学校の生徒や保護者等にアンケートを実施し、平成19年度にその結果を分析して提言されたことについて検討した内容がもととなっている。震災に伴い大きく本校を取り巻く環境は変化したが、変化に対応しながらも、引き継ぐべきものは引き継ぐという方針の下、年度当初に重点実践目標を定めるとともに、それらを達成するための具体的目標について、各部・学年において前年度の反省を生かしながら策定した。

(2) 自己評価年間計画について

3～4月	「学校経営・運営ビジョン」の策定 保護者等へ公表（PTA総会・ホームページ）
4～9月	実践
10月	中間評価・公表
10～2月	実践
3月	年度末評価・公表

2 評価結果の概要

(1) 各部・学年からの評価

学校経営・運営ビジョンにおける重点実践目標を各部・学年の具体的目標に照らして、各部・学年の年間反省から学校経営・運営ビジョンの実践状況を評価する。

学校経営・運営 ビジョンにおける 重点実践目標No.	重点実践目標に対応する具体的目標の実践・評価部署				
	教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部	3学年
1		○		○	○
2	○		○		○
3	○	○		○	○
4	○		○		

※ 重点実践目標および具体的目標については、「学校経営・運営ビジョン」参照
評価基準は以下のとおりとする。

評価	A	B	C	D
評価基準	達成できた	やや達成できた	あまり達成できなかった	達成できなかった

(2) 関係者へのアンケートによる評価

学校経営・運営ビジョンにおける重点実践目標をアンケートに反映させ、回答から学校経営・運営ビジョンの実践状況を評価する。

対 象	中間評価のためのアンケート (9月実施)			年度末評価のためのアンケート (1月実施)		
	対 象 数	回 答 数	割 合	対 象 数	回 答 数	割 合
教 職 員	7	7	100%	7	7	100%
教 職 員 以 外	11	11	100%	11	11	100%
生 徒	11	11	100%	11	11	100%
保 護 者	11	11	100%	11	11	100%

※ 重点実践目標とアンケート項目については、別紙参照
評価基準は以下のとおりとする。

評価	A	B	C	D
評価基準	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない

3 年度末評価のまとめ

(1) 達成状況等

【重点実践目標No. 1】 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	3			

全体的に落ち着きのある生活態度であった。服装、頭髪もしっかりしていた。目標の1つである「特別な指導」も昨年度よりゼロを継続している。今後も全職員で対応したい。

双葉翔陽高と連携して清掃時の注意点等を確認したため、清掃・ゴミ処理はよくできた。生徒減に伴う清掃区域の配当・清掃内容について、さらに精選することができた。

休校記念式典等では、最高学年、最終学年として自覚を持って取り組むことができた。

【重点実践目標No. 2】 学力の向上と進路指導の充実

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	3	2		

生徒の進路目標に応じた授業編成や習熟度別授業を行ってきた。

進路希望調査、進路ガイダンス、一日看護体験等の進路指導部による企画・行事をとおして、生徒各自が自分の進路を考え、進路目標を具体的に定めるきっかけとなった。

進学及び就職希望者に対して、課外授業や面接・小論文指導をとおして、全職員で個に応じた進路指導を実施することにより、早期に進路決定100%を実現することができた。しかし、進学決定者の多くは指定校推薦入試利用者であり、進路に応じた学力の定着や学習習慣の確立については課題が残った。

【重点実践目標No. 3】 豊かな人間性の育成

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	5			

生徒が実際に書店で図書の選定をするなど、読書を推進する活動を積極的に行った。

年2回の被害調査において、「いじめ」の実態は見られなかった。結果を保護者に報告するよう指導した。

スクールカウンセラーとの連携を図りながら、生徒一人一人に対して複数回のカウンセリングを実施した。生徒が生活面・心理面で不安を感じた場合は、随時、養護教諭等によるカウンセリングを行い、生徒と共通理解を得た。

部活動や生徒会活動等をとおして級友や他校生、地域の方々とふれあったり、さまざまな活動を経験することにより、人間性を育むことができた。

【重点実践目標No. 4】 開かれた学校づくりの推進

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	1	1		

ホームページでは行事や生徒の様子などを頻繁に紹介してきた。閲覧数も休校記念式典頃から増加した。また、部活動や休校関係での取材にも多く対応し、情報を広く発信した。

ロングホームルームや進路行事等をとおして進路情報を生徒へ発信し、生徒の進路意識向上に役立てた。保護者への情報発信については、面談以外の部分が足りなかった。特に、宿泊施設利用生徒と保護者の連絡に、もっときめ細やかな配慮が必要であった。

(2) アンケート結果の分析 (別紙「学校評価のためのアンケート結果」参照)

① 「そう思う」と「だいたいそう思う」割合の合計が高いアンケート項目

※ () はアンケート項目の番号

	教 職 員	生 徒	保 護 者
1 位	(1, 2, 3, 4, 8, 9, 10) 100%	(2, 4, 5, 8) 100 %	(1, 2, 3, 4, 5, 10) 100 %
2 位		(1, 3) 90.9%	
3 位			

教職員、生徒、保護者によるアンケート結果において、評価が高かった内容は次のとおりである。

- ・少人数教育を中心とした学習指導 (2)
- ・進路希望実現へ向けた積極的な支援 (4)

② 「そう思わない」と「あまりそう思わない」割合の合計が高いアンケート項目

※ () はアンケート項目の番号

	教 職 員	生 徒	保 護 者
1 位	(7) 28.6%	(7) 54.5%	(8) 27.3%
2 位	(5, 6) 14.3%	(9) 27.3%	(7, 9) 18.2%
3 位		(6, 10) 18.2%	(6) 9.1%

教職員、生徒、保護者によるアンケート結果において、評価が低かった内容は次のとおりである。

- ・家庭学習の習慣化 (7)
- ・情報発信による保護者・地域との連携 (6)

平成28年度 福島県立双葉高等学校 学校経営・運営ビジョン

本校は、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を教育目標に掲げております。潜在的可能性を持った個の集合体の中で、自己を磨き自己の個性を極める生徒を育てるとともに、生徒の未来志向の考えを尊重します。知に向かう仲間同志が切磋琢磨することで、学びの質を高めます。質実剛健・終始一貫の校訓のもと、みずみずしい感性と他者への思いやり、加えて忍耐力を養い仲間との絆を深めるよう支援します。

いわき明星大学内に設置されたサテライト校舎での学習活動も5年目を迎えますが、平成29年3月末をもって休校することが決定しているなか、少人数教育の推進、大学との連携をさらに深め、3年生11名の生徒たちの能力を十分に伸ばさせ、それぞれの夢や希望が実現できるよう教職員が一丸となって教育活動に邁進します。

家庭、地域からこれまで以上の支援をいただきながら、教育基盤の充実を図り、福島県、ふるさと双葉の復旧、復興はもとより、国内外の様々な分野で活躍、貢献できる人材、そして、将来の学校再開の礎となりうる人材を育成していきます。

さらに、学校事故のない安全・安心な学校づくりを推進し、教職員一人一人が使命感と自信を持ち、高い倫理観と自律心を堅持しながら、教育活動に取り組みます。

校長 小 島 稔

校 訓 質実剛健 終始一貫

1 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成 2 学力の向上と進路指導の充実 3 豊かな人間性の育成 4 開かれた学校づくりの推進

具 体 的 目 標 の 時 系 列 計 画 ・ 周 知 と 実 践 (DO)			
教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部
①新学習指導要領に基づいた教育内容の工夫と研究改善に努める	①高校生としてのマナーとエチケットを身につけさせる (特別指導ゼロ)	①生徒の進路目標決定のため、積極的な支援を行う	①生徒の心の健康の充実に努める (日常の健康観察及びカウンセリングによる心のケアの実施)
②各教科・学年と協力して、平日・週末課題等により家庭学習の習慣化を図る (最低週20時間)	②「いのち」を大切にすることを育む (「いじめ」のない安全な学校生活)	②生徒の進路希望実現のため、学力の向上を図る	②校舎内外の美化に努める (通常清掃の徹底)
③ホームページ等を利用して、地域・保護者に広く情報を発信し、本校教育活動への関心を高める		③進路情報を適宜発信し、常時進路意識を高める	③健康診断の適正実施と事後措置の徹底に努める
④生徒の図書の利用促進と読書の定着化を図る			③豊かな人間性の育成を図る

計 画 の 定 期 的 な 確 認 (CHECK) 評 価 自 己 評 価 年 度 末 (2月)

改 善 ・ 向 上 (ACTION)			
反省	成果と課題を分析 改善項目の究明	改善	開かれた学校
		教育活動の改善 資質能力の向上	説明責任

平成28年度 学校評価アンケート

No.	質 問 項 目	学校経営・運営ビジョンの目標との関連										
		重点 1	重点 2	重点 3	重点 4	教務 指導	生徒 指導	進路 指導	保健	3年		
1	自分たちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。		○				○					
2	先生は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実の充実に努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。		○				○					
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	○							○			○
4	先生は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。		○								○	○
5	部活動の顧問の先生は、熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。			○								
6	公開授業やホームページ、学年だより等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。						○				○	
7	出された課題をきちんとやり、家庭学習の習慣を身に付けるとともに、週20時間以上行うよう心がけている。		○								○	
8	学校での健康診断等をきちんと受けるとともに、結果に応じて必要な事後措置も欠かさずに行うなど、宿泊施設での生活も含め、健康について自己管理するよう心がけている。	○										○
9	読書に親しむ習慣が身に付くとともに、学習等にも図書館を積極的に利用している。			○								
10	生徒会行事等に積極的に参加しており、いじめ等もなく、学校生活が楽しい。			○								○

平成28年度教職員学校評価（年度末）【回答数7/7】

No	質問項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	生徒の実態に対応できるような教育課程の研究と改善に努めている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		42.9%	57.1%				
2	少人数クラス編成の特色を活かし、「分かる授業」や質の高い授業を推進するなど、授業内容の工夫と改善に努め、学力の向上に取り組んでいる。	5	2			100.0%	0.0%
		71.4%	28.6%				
		57.1%	42.9%				
3	高校生としてのマナーやエチケットの規範意識を身に付けさせるなど、礼儀を重んじた自律的な生活態度を育成する指導を行っている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		42.9%	57.1%				
4	個々の生徒に応じた面談や進路指導の充実に努め、生徒の進路希望実現を積極的に支援することにより、進路希望達成状況の向上を図っている。	6	1			100.0%	0.0%
		85.7%	14.3%				
		57.1%	42.9%				
5	部活動の活性化を図るとともに、悩みや相談にも親身になって対応し、より豊かな人間性の育成に努めている。	3	3	1		85.8%	14.3%
		42.9%	42.9%	14.3%			
		28.6%	57.1%	14.3%			
6	授業等の公開やホームページ、メール等による情報発信により、生徒・保護者・地域に対して開かれた学校づくりとしての説明責任を果たすよう努めている。	3	3	1		85.8%	14.3%
		42.9%	42.9%	14.3%			
		42.9%	42.9%	14.3%			
7	週20時間以上の家庭学習習慣を身に付けられるよう、適切な課題を出したり注意したりするよう心がけている。		5	2		71.4%	28.6%
			71.4%	28.6%			
			71.4%	28.6%			
8	健康診断等の結果に応じて必要な事後措置をきちんと行うとともに、宿泊施設での生活も含め、健康・安全について自己管理ができるような指導を行っている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		28.6%	57.1%	14.3%			
9	各教科と連携を図り、図書コーナーや大学図書館の有効な活用等の読書についての指導を行っている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		28.6%	71.4%				
10	生徒が楽しい学校生活を送れるよう、生徒とのコミュニケーションを図るなどして、いじめや非行の未然防止・早期発見に努めている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		28.6%	71.4%				

各項目の下段の数値は中間評価の割合

平成28年度生徒アンケート（年度末）集計結果

（休学者を除く）

	回答数	回答率	在籍数
総数	11	100.0%	11
1年生			
2年生			
3年生	11	100.0%	11

No.	質問項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	自分たちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。	3	7	1		90.9%	9.1%
		27.3%	63.6%	9.1%			
		54.5%	45.5%				
2	先生は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実にも努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。	3	8			100.0%	
		27.3%	72.7%				
		18.2%	81.8%				
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	1	9	1		90.9%	9.1%
		9.1%	81.8%	9.1%			
		54.5%	45.5%				
4	先生は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。	3	8			100.0%	
		27.3%	72.7%				
		36.4%	63.6%				
5	部活動の顧問の先生は、熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。	5	5			100.0%	
		50.0%	50.0%				
		50.0%	50.0%				
6	公開授業やホームページ、メール等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。	1	8	1	1	81.8%	18.2%
		9.1%	72.7%	9.1%	9.1%		
		27.3%	45.5%	27.3%			
7	出された課題をきちんとやり、家庭学習の習慣を身に付けるとともに、週20時間以上行うよう心がけている。		5	6		45.5%	54.5%
			45.5%	54.5%			
			18.2%	81.8%			
8	学校での健康診断等をきちんと受けるとともに、結果に応じて必要な事後措置も欠かさずに行うなど、宿泊施設での生活も含め、健康について自己管理するよう心がけている。	2	9			100.0%	
		18.2%	81.8%				
		40.0%	50.0%	10.0%			
9	今年度新設された図書コーナーを活用し、読書に親しむ習慣が身に付くとともに、学習等で大学の図書館を積極的に利用している。	2	6	2	1	72.7%	27.3%
		18.2%	54.5%	18.2%	9.1%		
		36.4%	54.5%	9.1%			
10	生徒会行事等に積極的に参加しており、いじめ等もなく、学校生活が楽しい。	3	6	1	1	81.8%	18.2%
		27.3%	54.5%	9.1%	9.1%		
		36.4%	45.5%	9.1%	9.1%		

各項目の下段の数値は中間評価の割合

平成28年度保護者アンケート（年度末）集計結果

（休学者を除く）			
	回答数	回答率	在籍数
総 数	11	100.0%	11
1年生			
2年生			
3年生	11	100.0%	11

No.	質 問 項 目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	お子さんたちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		36.4%	63.6%				
2	教員は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実に努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		27.3%	72.7%				
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		36.4%	63.6%				
4	教員は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		45.5%	54.5%				
5	部活動が活発で、顧問も熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。	6	4			100.0%	
		60.0%	40.0%				
		54.5%	45.5%				
6	公開授業やホームページ、メール等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。	6	4	1		90.9%	9.1%
		54.5%	36.4%	9.1%			
		27.3%	45.5%	27.3%			
7	お子さんは、出された課題をきちんとやることにより家庭学習の習慣が身に付き、週20時間以上行っている。	1	8	2		81.8%	18.2%
		9.1%	72.7%	18.2%			
		9.1%	54.5%	36.4%			
8	学校で行う健康診断等の受診結果に応じて必要な事後措置を欠かさずに行い、お子さんは、宿泊施設での生活を含めて健康について自己管理しようとする態度が身に付いている。	2	6	3		72.7%	27.3%
		18.2%	54.5%	27.3%			
		18.2%	63.6%	18.2%			
9	お子さんは、読書に親しむ習慣が身に付いている。今年度新設した図書コーナーや大学の図書館を十分に活用している。	1	8	2		81.8%	18.2%
		9.1%	72.7%	18.2%			
		27.3%	45.5%	27.3%			
10	お子さんは、生徒会行事等にも積極的に参加しており、いじめ等もなく、楽しい学校生活を送っている。	5	6			100.0%	
		45.5%	54.5%				
		27.3%	72.7%				

各項目の下段の数値は中間評価の割合